



佐藤 武朗 議員

質問 5期目の出馬意向と町政方針は

答弁 町民と共に「花咲く未来」を目指す



中期基本計画の実現推進を（写真は総合計画の表紙）

質問 地区計画を活用した土地利用は

答弁 文教地区にふさわしい宅地開発

町長 開校に合わせてスケジュールを進めていきたい。

問 義務教育学校が令和12年4月開校に向けて、このエリアの活用に向けてどのように計画を進めるか。

答 町長 エリア内の道路整備を含む、概略地区計画の作成等について委託を実施した。

問 業務委託の検討結果は。

答 町長 釧路中学校西側エリアの土地利用について、地区計画制度等を活用して、周辺環境と土地利用の検討について次の点を伺う。

問 釧路中学校西側エリアの土地利用について、地区計画制度等を活用して、周辺環境と土地利用の検討について次の点を伺う。

問 本町は合併70周年を迎え、町長就任以降、東日本大震災や原発事故、コロナ禍、地震など多くの困難に対応してきた。近年は「住み続けたいまちランキング」で県内上位となり、施策の成果が見られる。今後は令和6年度策定の中期基本計画の実現に向け、町長選への出馬意思と町政方針を問う。

答 町長 町政を担って16年、桑折町は東日本大震災や原発事故、度重なる地震、コロナ禍といった未曾有の危機を町民と一体となって乗り越え、「献上桃の郷」として高い評価を得るまでに発展してきた。これは町民の郷土愛と支援の賜物である。今後は人口減少や超少子高齢化、自然災害、国際情勢の不安定化、デジタル社会の進

一般質問 という名の 政策提案



3月定例会は議員11名が登壇

※青字は、質問の概要を掲載しています。
※各問答は、質問者の責任で作成した原文を掲載しています。問い合わせは、各議員をお願いします。

登壇議員	質問事項
佐藤 武朗	① 町長の5期目出馬の意思と出馬の場合の町政方針について ② 釧路中学校西側エリアの土地利用計画について
岡本 貴士	① 4月開始、たばこ増税、その使い道は
沢村 保正	① 学校運営協議会の意義と、これまで設置されてこなかった理由について ② 義務教育学校設立を核とした教育政策・人口減少対策・財政運営について ③ 桑折町商工業の活性化に向けて行政が果たすべき役割について
斎藤 謙	① 長寿命化計画等に関して ② 小・中学校及び義務教育学校の設置等に関して ③ 財政運営等に関して
石幡 政子	① 学校教育における、質の高い教育の推進について
鈴木 志隆	① 熊出没に対する有害鳥獣対策と、住民の安全確保に向けた取り組みについて ② 公共施設や道路・上下水道等のインフラ整備の現状と、今後の方針について ③ 公共施設の不用品の処分方法と、有効活用・有償化の可能性について ④ 半田財産区廃止に伴う区有財産管理体制と地域への配慮について
川名 静子	① 義務教育学校開設までの期間にできる子供を第一に考える教育のあり方に関して ② 本町の子育て支援策は十分か、今、望まれる本当に必要な支援とは何か ③ 使いたいときに使えないトイレの役割りって何？
半澤 高	① 次年度の役場組織の改編、増強について ② 災害に対する「備え」について ③ 公共工事における騒音、振動、粉じんについて ④ 国道4号福島北道路の今後の進展について
川村 道	① 桑折町の教育行政について ② 義務教育学校設置決定関連について ③ 公立藤田総合病院の経営状況について桑折町としての対処について ④ 本町の農業の将来対策について
齋藤 松夫	① 昨年10月29日の教育委員会において、義務教育学校設置方針を決定したことについて ② 義務教育学校設置方針決定が、教育委員会規則第14条の秘密会で行われたこと等について ③ 町HP掲載の「公平公正」・「情報の公開と共有」・「グリーン」の基本姿勢について ④ 令和7年度の熊被害対策の到達点及び新年度に向かっての基本方針について
羽根田 ひとみ	① 猫をめぐる地域トラブルを減らす方法について ② 高齢者の自立生活の為にシェアハウス推進について ③ ふれあい公園内ピーチウィングの活用について ④ 郷土への理解と愛情を育てる教育について

一般質問とは、議会で議員が行政（町長や役場など）に対して、町民の関心事や問題点について質問し、その答えを求める制度です。これにより、行政の運営状況を確認し、政策の改善や問題の解決を図ることを目的としています。



半沢 正保 議員

質問 新しい学校と公共施設の複合化を

答弁 基本構想策定の中で検討する



地域拠点の複合図書館イメージ

文部科学省「学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について」によると、学校施設と公共施設を複合化する動きが全国で進んでいる。公立小中学校等の複合化事例は11,450校で全体の39%を占めている。こうした動向を踏まえ、桑折の文教区・防災拠点として機能強化を提案する。

第一に、異学年交流や食育の充実、災害時の炊き出し拠点として活用できるランテールームの設置（給食センターとの接続）。
第二に、地域の学習拠点となるよう学校図書館と町図書館を統合。
第三に、学校行事に加え文化活動や講演会、地域交流にも利用できる文化ホール的な簡易機能を備えた第二体育館の多機能化。

第一に、異学年交流や食育の充実、災害時の炊き出し拠点として活用できるランテールームの設置（給食センターとの接続）。
第二に、地域の学習拠点となるよう学校図書館と町図書館を統合。
第三に、学校行事に加え文化活動や講演会、地域交流にも利用できる文化ホール的な簡易機能を備えた第二体育館の多機能化。

質問 桑折町商工業の支援の強化を

答弁 課題をふまえ適切に支援していく



商店街の活性化のイメージ

商店街や既存事業者の活性化には、行政支援と事業者自身の努力の適切な役割分担が重要である。行政が関与・支援すべき範囲と民間の主体性に委ねる範囲をどのように整理しているのか。また、自立した地域経済に向けた行政支援のあり方を伺う。

商店街や既存事業者の活性化には、行政支援と事業者自身の努力の適切な役割分担が重要である。行政が関与・支援すべき範囲と民間の主体性に委ねる範囲をどのように整理しているのか。また、自立した地域経済に向けた行政支援のあり方を伺う。

これも質問

統合型の学校運営協議会の早期設置を令和9年度に醸芳中学校に設置する



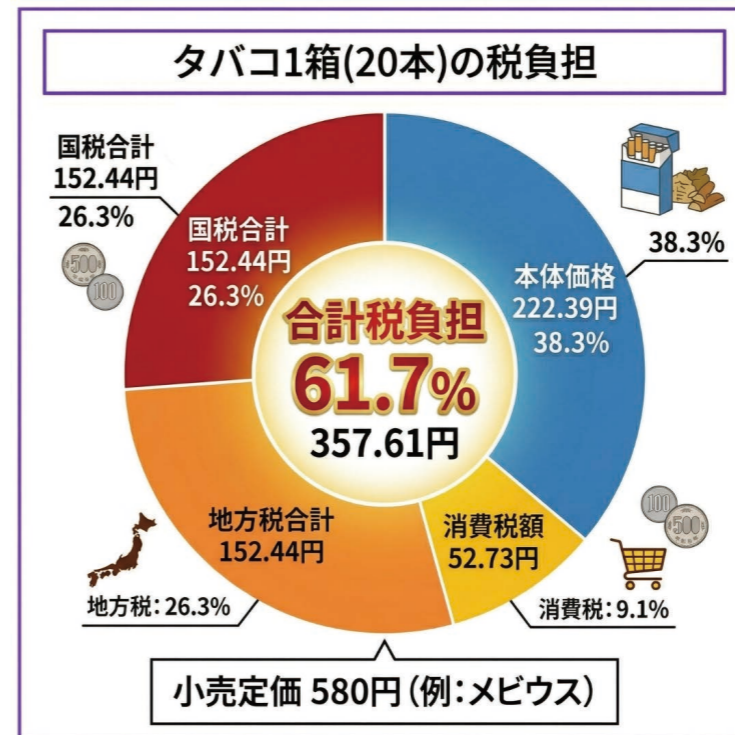
岡本 貴士 議員

質問 タバコ増税の使い道について伺う

答弁 用途は示せない



財務省は、市町村たばこ税は96億円増と試算



もはや、税金を吸っている!?

令和8年4月から防衛力強化の財源確保を目的に、タバコ税の増税が2段階で実施される予定である。本庁における増税によるタバコ税収の増加見込み額、増収分の特定事業や分野への充当の考え方、「活き生きこおり健康プラン」に掲げる分煙環境

整備や禁煙支援への活用可否、ならびに増税による収入の用途を町民にわかりやすく明示する方針があるかについて伺う。

令和8年度は加熱式タバコの課税換算方式の見直しにより約164万円の増収が見込まれるが、喫煙率の低下に伴う約300万円の減収が上回るため、全体では約140万円の減収を見込んでいます。令和9、11年度の増税分は国税のみで

あり、市町村税率への影響はない。タバコ税は一般財源であるため特定の用途を示すことはできないが、「活き生きこおり健康プラン」に基づき、喫煙抑制および受動喫煙防止対策を引き続き推進していく。



さいとう けん 議員 齊藤 謙

質問 長寿命化執行は町民の安全・安心

答弁 年度毎優先順位、適正な維持管理

問 西根堰は睦合地区松原から半田地区まで流れていて、しかも、半田、成田地区には活断層が奔っているので、早期に計画通りに進めるべきである。また、下堰である伊達崎は根岸地区から北沢地区まで、奔っていて福島県沖地震で生活道路に影響が出ているので、町民の安全安心に取り組み必要がある。なお、桑折町が管理する橋梁の中で、架設後30年以上を経過した橋梁は全体の86%を占めているため、近い将来一斉に架け替え時期を迎えるのでは。

答 町長

桑折町橋梁長 長寿命化修繕計画を踏まえた個別計画に基づき、日常点検、定期点検を実施し、緊急性や劣化状況、利用状況等を勘案し、年度ごとに優先順位をつけ、適正に維持管理に努めている。

質問 教育委員会誰でも傍聴できる体制

答弁 義務教育学校決定した件は秘密会

問 教育委員会開催時には、いつでも、誰でもが傍聴できるように進めるべきでは。

答 教育長

教育委員会開催時には、基本的にはいつでも、誰でもが傍聴できる体制としているが、今回の義務教育学校決定には秘密会として開催した。

問

財源等については、義務教育学校設置のための総費用概算はいくらになっているのか。

答 教育長

現時点においては、お示しできない。進捗状況を踏まえ、住民説明会や義務教育学校設置日より等でお知らせしていく。



伊達崎小学校 小中義務教育化によって無くなるのか。

これも質問

問 地方債は実質公債費比率10%超危険性
答 IC周辺整備等公債費返済問題

質問 IB教育の理念を学習に取り入れているか

答弁 探究型学習の取り組みを推進している



いし はた まさこ 議員 石幡 政子

「義務教育学校」の内容については、児童生徒に、より質の高い教育に取り組むことができるかと期待している。「義務教育学校」設置に向け、ハード面と合わせて、ソフト面の「特色ある教育」についても取り組む内容を今から検討していく必要があると考える。そこで次の点について伺う。

問

近年、社会の国際化が急速に進む中で、学校教育にも「グローバルな視点」が求められる。更に質を高める教育について注目されているのが「国際バカロレア」IB教育というものがある。現状において、IB教育の理念に通じる探究的な学び特に「問を立てる学習」や「多角的に考える学習」をどの程度取り入れているのか伺う。

答 教育長

IB教育については、その特徴として「知識」より「思考」、そして「問い続けること」にあると理解しており、本町においては、秋田県を参考に、「問を立てる」「多角的に考える」探究型学習の取り組みを推進しているところである。



総合学習の成果発表「半田祇園ばやし」

問

「義務教育学校」における特徴ある学習について、教職員配置や担当科目が流動的に可能であることで、より充実していくと捉えられる科目について伺う。

答 教育長

義務教育学校については、中学校教員の専門性を生かし、3年間以上の一貫した指導を行うことも可能となるため、子供たちの学習意欲や習熟度が増すものと捉えている。また、小学校教員の得意とする教科を交換しあつて専科指導をすすめていくことや、中学校教員と小学校教員のチームティーティングもできることから、芸術系や言語系の教科に限らず、子どもの学びに向かう力を更に育んでいくことが可能となる。



総合学習の成果発表「桃を使ったメニュー開発」



議員 高 澤 はんざわ たかし

質問 林野火災にどう備えているのか

答弁 消防組合と共に未然防止に努める

問 昨年2月に発生した大船渡市の山林火災は、焼失面積が3,000haを超え多くの被害を出し平成以降最大の林野火災となった。その後も日本各地で林野火災が多発しているが、町では林野火災にどのように備えているのか伺う。

答 町長 林野火災については、一旦発生すると人的被害や財産被害が甚大に及ぶことから、大船渡の林野火災を契機に、伊達地方消防組合において林野火災注意報が創設された。町としても消防組合と共に管内における林野火災発生の際に未然防止に努める。また、消防団において中継送水等初期消火に向けた訓練を実施するとともに背負い式消火水囊を配備し、初動対応力の強化を図っている。



令和7年3月に岡山市で発生した山林火災の写真
【出典：総務省消防庁 HP】

これも質問

問 公共工事における騒音・振動等の対策は、施行者と情報共有し公衆環境の保全に努めているのか

答 令和8年度の町組織機構の改編はあるのか

答 これまで同様に対応していく



議員 川村 滋道 かわむら しげみち

質問 藤田総合病院の維持発展のために

答弁 赤字解消の経営努力を願いたい

問 近年の医療機器・器具、メンテナンス費用、食材費、給食費、光熱費などの高騰や人材採用費の増大、賃上げ対応等に伴う大幅なコスト上昇に対し、診療報酬の改定が連動し公立病院の経営悪化が顕著だ。公立藤田病院は令和6年度で8・4億の赤字だ。重点医療機関の危機は地域に混乱を惹起する。改善策について町長の所見を伺う。

答 町長 無くては困る病院だ。今議会の補正予算でも医療施設等物価高騰対策事業として1千万円の支出を決定した。構成する3自治体で合計3千万円の支援を決定した。しかし基本は病院として独自の経営合理化を行うことであり、患者を増やしたり様々な収入確保の手立てを考へることではないか。



経営改善が必要な公立藤田総合病院

質問 農業担い手確保の手立ては

答弁 組織設立の機運が高まらない

問 「どの農地を誰が将来耕作するか」が地域計画で示されていると思う。白地地域は太陽光発電業者も格好の場所としてアプローチがあるようだ。しかし今稲作している優良農地でもここ10年たらずに作れないという方が結構いる。地域計画で示されない稲作農家の要望をどのように把握されているのかまた、解消のために集落営農の考へはあるのか伺う。

答 町長 集落農業については、地域農業の維持につながる有効策として関心を示す農家はいるものの、農業経営体が多様化している現在、組織の立ち上げや運営体制の確立などが課題であり、設立の機運が高まらない状況にあると捉えている。



優良農地の北沢地区も後継者問題が

質問 国道4号福島北道路の進展は

答弁 今後ルート帯案が決定される予定

問 国道4号福島北道路については、福島河川国道事務所にてこれまで2回のアンケートを実施しており、昨年実施した2回目のアンケートでは「現道改良案」と「バイパス案」が示された。その後の経過を伺う。さらに今後の進展・展開について町長の考へを伺う。

答 町長 今後、国において開催される社会資本整備審議会道路分科会東北地方小委員会においてルート帯案について決定されると伺っている。私としては、率直に申し上げれば、バイパス案に決定いただき本町内において国道4号線と接続する事を強く望んでおり、伊達市・国見町とともに、国へ対し要望活動を毎年実施してきている。

これも質問

問 非公開の義務教育学校設置の議論は、公開を決定し3月にホームページで公開した

答 最初から義務教育学校ありきの提案では、多様な角度で様々な議論を行い決定した



齋藤 松夫 議員

質問 義務教育学校なぜ秘密会で決定か

答弁 自由闊達な発言機会確保のためだ

問 昨年10月29日の義務教育学校設置決定は、教育長発議による秘密会でのものであった。かかる重大案件、町民の重大関心事を「秘密会」で決定した理由は何か。「小・中学校あり方検討委員会提言」の末尾で述べている、「保護者・住民と行政間の相互理解」の趣旨を無視するものでないか。

答 委員の自由闊達な発言の機会を確保するため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項の規定に基づき、非公開とした。町民説明会で齋藤松夫議員より「教育委員会規則で定めているのは非公開ではなく秘密会である」との指摘を受け、教育委員会で協議し、会議録を町ホームページにアップした。



齋藤 松夫 議員

質問 熊対策で緩衝帯等5つを提言する

答弁 緩衝帯整備等取り組み強化で対処

問 7年度の熊被害対策をどのよう^①に評価し、新年度に臨む考えか。この対策強化のため、次の5つを提言し所見を伺う。
①町の北端から南端まで緩衝帯を整備する。
②これをベースに電柵による侵入防止柵設置。
③道路・沢などからの熊侵入察知のためのIoT機器の活用。
④管理体制強化へマンパワ-の確保。
⑤国の「熊被害対策パッケージ」の積極的活用による財源確保。

答 町長 熊の目撃情報一定の効果があつたと捉えている。新年度は引き続き放任果樹の伐採、ヤブ刈り払いに加え、大規模な緩衝帯整備や熊用ドラム缶型捕獲檻購入、捕獲隊への処遇改善を実施する。



杉木立ち構想 総括質疑で杉木立ち構想を提言 50cm間隔で植栽、摘心で2本だての杉に

これも質問

問 あり方検討委員会の3つの提言への理解は義務教育学校・小中一貫校を視野にと
答 公平公正・情報の公開と共有・クリーンは就任当初より基本姿勢を堅持して町政執行



羽根田 ひとみ 議員

質問 猫トラブルに寄り添った対応を

答弁 問題解決のためにアドバイス



多頭崩壊した猫

問 猫の多頭崩壊が他界され地域の方々が困っている。また別件でも近所の猫問題で困っていると相談が来ている。この問題を解決するために3点伺う。
(1) 飼い主の责任意识を高めるため、不妊去勢手術費の一部を助成してはどうか。いわき市での取り組みを調査してきて必要と思うが。

答 町長 (1) 飼い主の責務である。
(2) マナー向上のため、猫の飼い方教室を開催してはどうか。
(3) 相談窓口の明確化と問題解決の充実を図るべきと考えるが。

質問 高齢者の自立生活シェアハウスを

答弁 設置に向けた課題等研究する



甲子園を見ながらお茶タイム

問 一人暮らしの高齢者が増加する中「社会からの孤立」「生活意欲の低下」「詐欺」「孤独死」を防ぐためにシェアハウスは有効と考えるが。
答 町長 シェアハウスは、交流や緩やかな見守りが生まれ、孤立防止等に資する可能性がある一方で、入居者調整・プライバシー・健康変化・緊急時対応などの運営上の課題も想定される。

問 プライバシーを保ちながら自立した生活を送れるシェアハウスは、健康の変化や緊急時にも有効である。推進のため、近隣自治体と連携した居住支援協議会の設立が必要と考えるが。
答 町長 居住支援協議会は高齢者に限らず幅広い対象に関わる住宅施策である。福祉関係・居住支援法人・不動産関係団体と連携し、設置に向けた課題について研究する。

これも質問

問 ピーチリパークを活用するために広く宣伝を
答 イベント会社やラジオ・テレビ・SNSで告知
問 郷土愛育成のため、地域行事への参加に協力を
答 地域コミュニティを大事にしていく